

Study DESK

スタディデスク

デスク

865ELA

組立・取扱説明書

保存版 保証書付

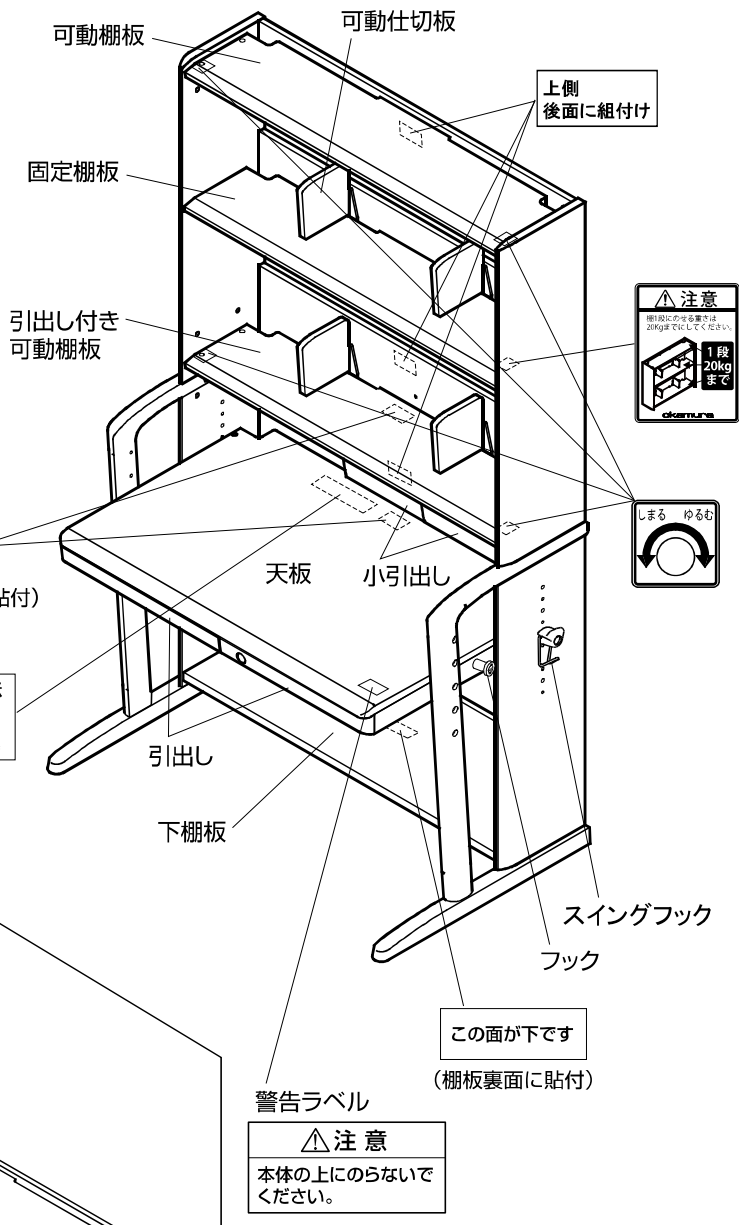
このたびはオカムラスタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この組立て・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

組立完成図 (各部の名称)

組立には \oplus のドライバーが必要です。ご用意をお願いします。
*電動ドライバーは製品を破損する恐れがあるので使わないでください。



組立ては2名以上で行ってください。



△注意
棚板にのせる重さは20kgまでしてください。
1段 20kg まで

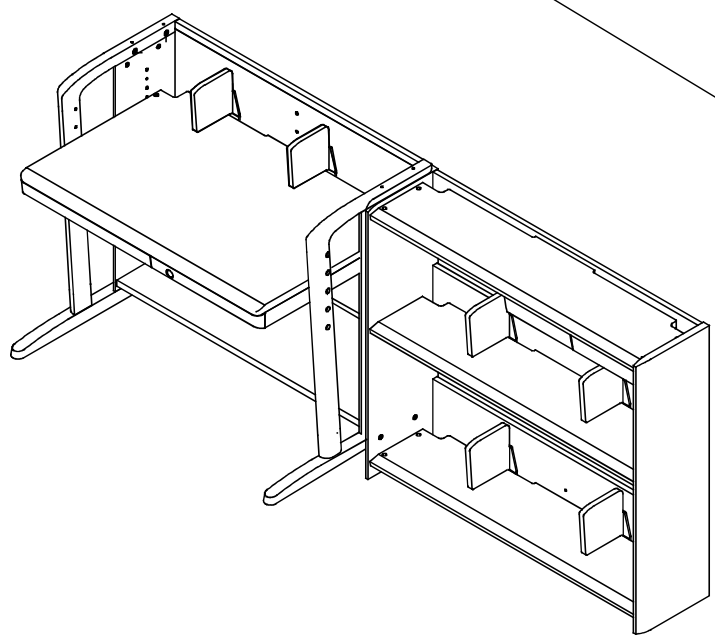


(天板ウラ側と可動棚板ウラ側に貼付)

品質表示シール
家庭用品品質表示法に基づく表示

(天板ウラ側に貼付)

■デスクと書棚の並列配置例



(警告ラベルは剥がさないでください)

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表します。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表します。

警告

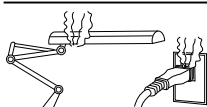
電灯やコンセントの取扱いに関しては下記事項をお守りください。
誤った取扱いをすると感電や火災の恐れがあります。

電灯

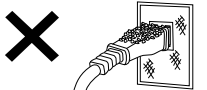
定格電圧：100V	定格周波数：50/60Hz
定格消費電力：15W	

コンセント

定格電圧：100V	定格周波数：50/60Hz
コンセント容量：1500W	



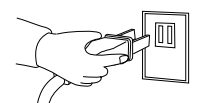
煙が出たり、変な臭いがした場合はすぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



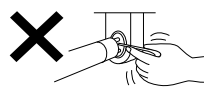
電源プラグやコンセント周りのゴミやほこりは発火や火災の原因となります。乾いた柔らかい布でふいて、取除いてください。



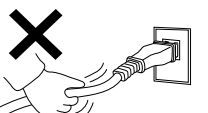
蛍光灯や電球交換時は、電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。LEDタイプは素子交換の必要はありません。



照明器具を長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



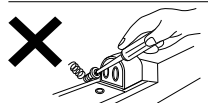
照明器具のスキマやソケット部に金属類(ヘアピンや針金等)を絶対に挿入しないでください。感電事故の原因となります。



電源コードを無理に曲げたり、引っ張らないでください。コードが破損し、火災、感電の原因となります。



水をかけたり、足元がぬれた場所、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故となる場合があります。



修理技術者以外が機器を分解、修理・改造することは絶対に行わないでください。故障や事故の原因となります。

コンセントは過酷な用途を目的として使用しないでください。また、使用する電気容量は合計1500Wを超えないでください。容量オーバーは火災の原因となります。

タコ足配線はおやめください。

注意

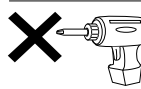
組立て上のご注意



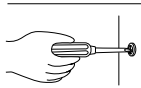
組立て前に説明書をよくお読みの上、ボルト類はドライバーで確実にしめ、組立て部品は省かずに使用して正しく組立ててください。



組替え式デスクを組立てる前に、まずは身長を計り、その身長に合わせて天板高さを決めて組立ててください。



組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が破損したり、ボルトが外せなくなる恐れがあります。



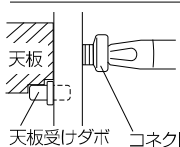
組立て後は平らな場所で製品の本締めを行い、各部がしっかりと取付けられているか確認してください。



組立てパターンにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

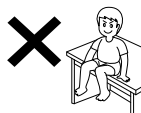


分割式ワゴンの上部を分解する際は、回転金具の矢印の位置が下を向いていること確認してから取外してください。



この製品は組替え式のデスクです。組替え中の天板落下防止のため、必ず天板受けダボがあることを確認してから、コネクtpボルトを外してください。

取扱い上のご注意

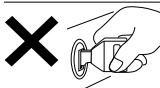


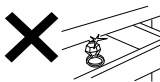
製品を乱暴に取扱うことや、用途以外での使用はしないでください。製品に体重をかけたり、のることは絶対にしないでください。転倒および破損の原因となり危険です。





製品に載せるものは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり危険です。
天板最大積載質量=40kg(等分布静荷重)
棚板最大積載質量=20kg(等分布静荷重)

⚠ 注意

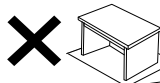
×  鍵の開け閉めの際は、鍵を深く差し込んで回してください。また、無理に回し過ぎると鍵や錠が破損することがありますのでご注意ください。

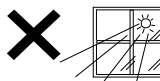
×  この製品の施錠は、故意による開錠やこじ開け等には対応しておりません。貴重品等の保管には使わないでください。

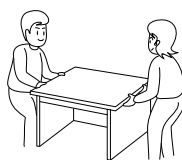
 購入当初の製品は接着剤や塗装物質の臭いがすることがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行い定期的な換気を行ってください。

 木目や色がカタログ及び見本製品と違いが出る場合があります。

⚠ 据付け時のご注意


×  水平で安定した場所を選び設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。


×  直射日光のあたる場所、温度や湿度の高い場所での使用は、変質・変形・変色のもととなりますので避けてください。





製品の据付け及び移動の時は、必ず二人以上で持ち上げてください。
製品を引きずると、床を傷つける場合があります。

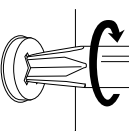
⚠ 末永くお使いいただくために

×  高熱になっているものを直接製品の上に乗せないでください。
変質・変形・変色の原因となります。


×  製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。表面材の変形やシミ・腐食の原因となります。ぬれた場合は、水分が残らないようにすぐにふき取ってください。


×  製品にはシールやセロテープ等を貼付けしないでください。
表面材がはがれる原因となります。

×  硬いもので製品をこすったり、下敷き等を使用せずに先の硬いボールペンなどの筆記具で書きものをしないでください。
変形やキスの原因となります。

 ボルト類のゆるみと部材の接続部は定期的に点検し、ゆるみなどがあつた場合はしっかり締め直してください。
ゆるんだまま使用した場合、変形・破損及び転倒の危険があります。

⚠ お手入れについて

 硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないように硬くしぼった布できれいにふき取ってください。多量に水分が残ると変形・変色の原因となります。

×  アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

組立前にご確認ください。

デスク天板の高さ、イスの高さ・奥行き

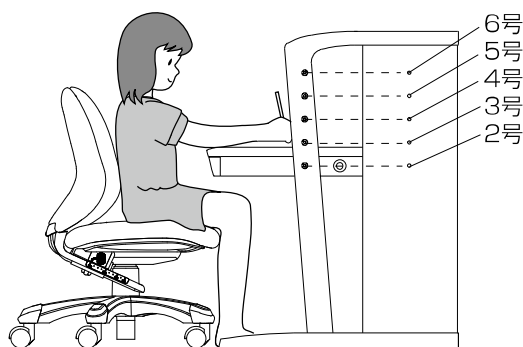
オカムラピエルナシリーズデスクは、学校用家具のJIS規格2号(身長120cm)から6号(身長180cm)に対応して、5段階で天板の高さを調節できます。

下図は、各JIS号数に応じた組立て時のボルト取付位置を示したものです。

また、別売のイスの高さ・奥行きも5段階で調整することができます。

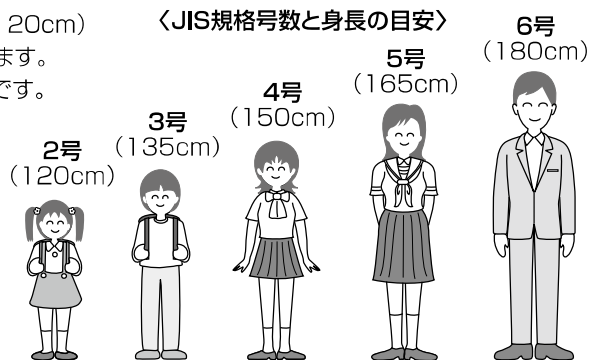
お子様の身長に合わせて、適正な高さでご使用ください。

〈JIS規格号数と机(天板)イス(背もたれ・座面)の取付けビス位置〉



※この表は標準的な目安の寸法です。実際にはお子様の身長・体型に合わせて机・イスの高さ、奥行きを決めてください。

〈JIS規格号数と身長目安〉



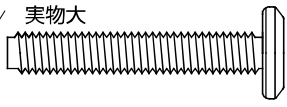
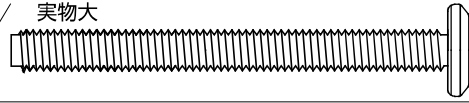
組立前にチェック

お子様の身長に該当する号数に○を付けて天板の高さを決めましょう。

〈JIS規格号数と机・イスの高さ・奥行き目安〉

JIS規格号数		2号	3号	4号	5号	6号
標準身長 (cm)		120	135	150	165	180
イス	天板の高さ (cm)	52	58	64	70	76
	座面の高さ (cm)	30	34	38	42	46
	座面の奥行き (cm)	29	33	36	38	40

デスク 部品明細 (組立て前に必ずご確認ください。)

ア ×7	コネクトボルト (M6×35mm)	実物大 	イ ×12	片側連結ボルト (24mm)	ウ ×5	リング	エ ×4	天板受け タボ
オ ×4	ナット用 キャップ	カ ×4	穴埋め用 キャップ	ケ ×1	コネクトボルト M6×60mm	実物大 		
キ ×1	スイング フック	ク ×2	フック	ケ ×2	キー	コ ×1	整理トレー	

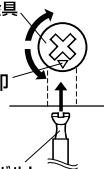
Point 【回転金具について】

回転金具 (部材に埋め込まれています)

右に回すと締まります。
左に回すと緩みます。 矢印

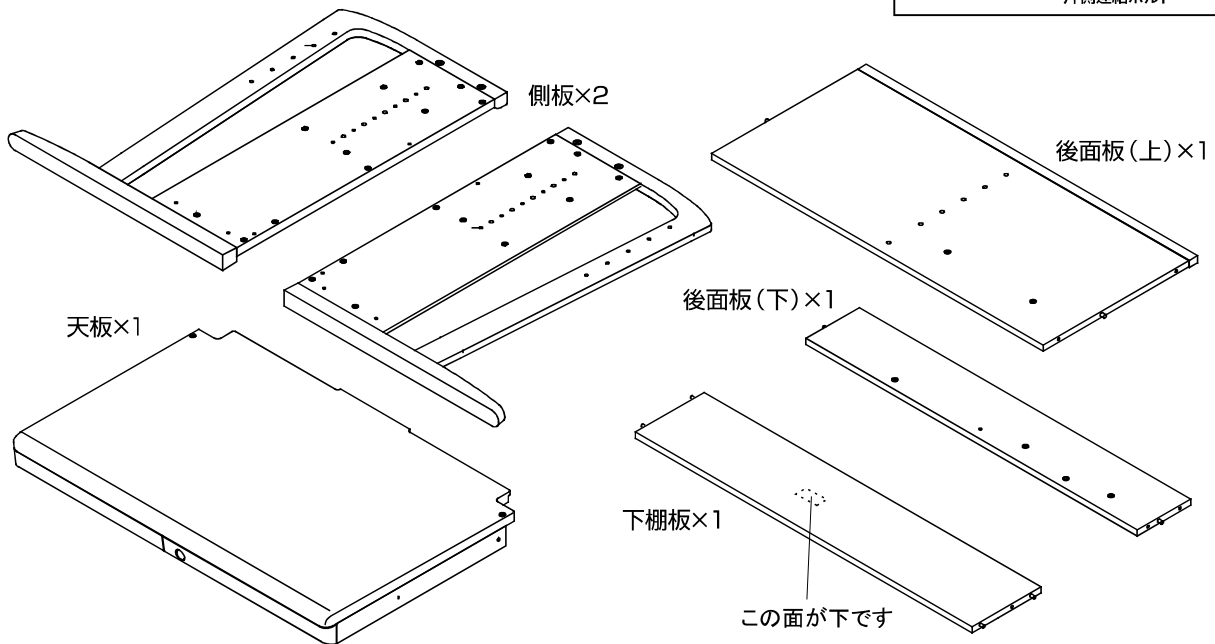
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。

片側連結ボルト



組立てには**+**のドライバーをご使用ください。

* 電動ドライバー、電動工具は製品を傷つけたり破損する恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。

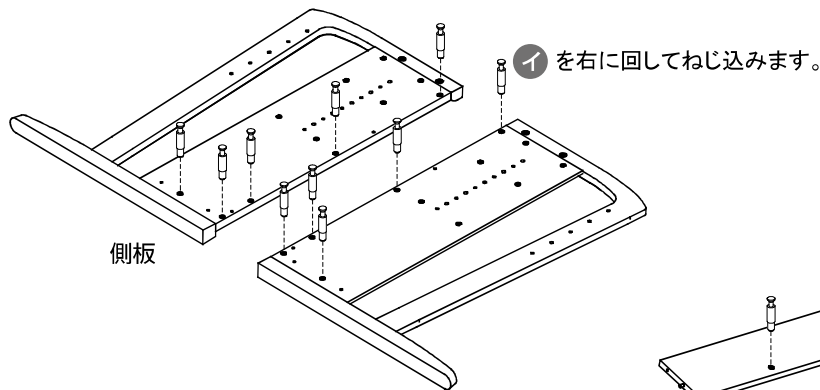


デスク

1

側板と後面板(下)へ連結ボルトの取付け

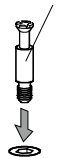
左右の側板に各5本づつ、後面板(下)の2カ所に**イ**の片側連結ボルトを取付けます。



Point 【連結ボルトについて】

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないように注意してください。
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。

片側連結ボルト

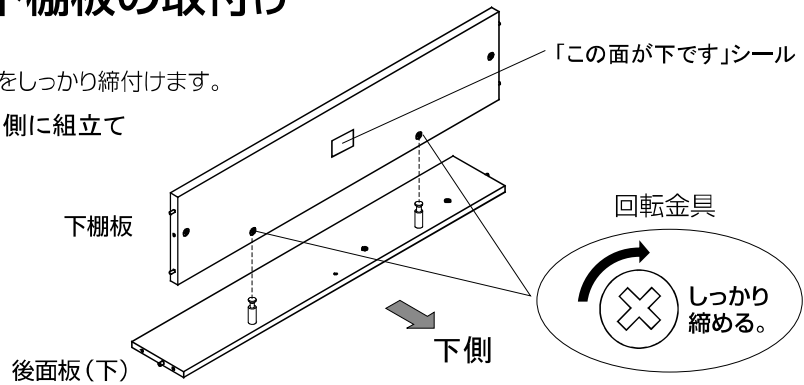


デスク
2

後面板(下)と下棚板の取付け

後面板(下)に下棚板を取付け、回転金具をしっかり締付けます。

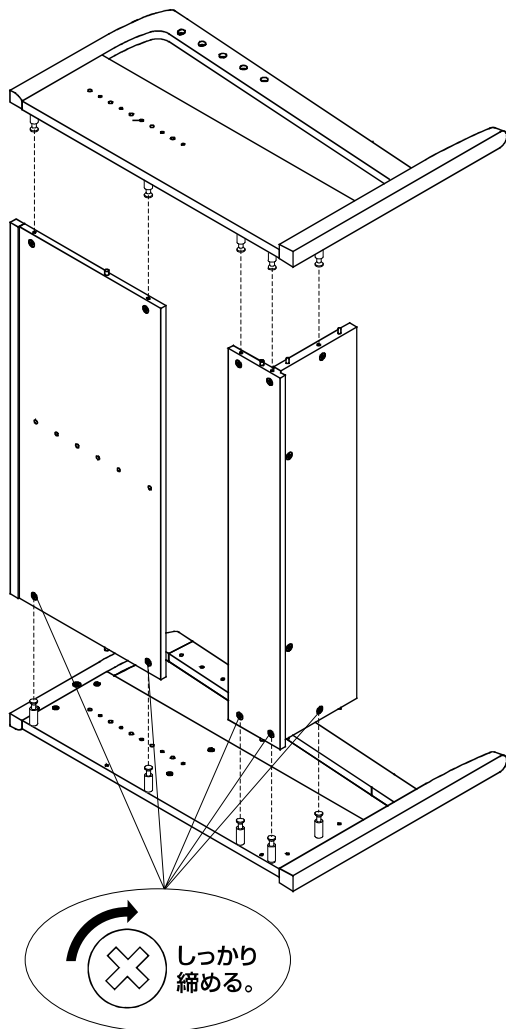
※下棚板のシールが貼ってある面を下側に組立ててください。



デスク
3

側板と後面板(上)の取付け

右の側板に**2**の部品と後面板(上)を取付け、次に左側板を取付け、回転金具をしっかり締付けます。



デスク
4

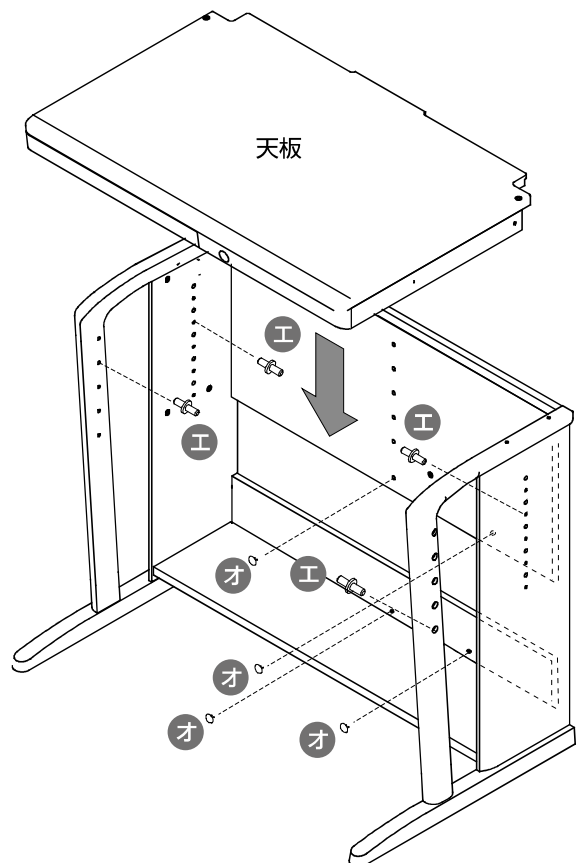
天板の取付け

※天板の高さは5段階に調節ができます。
高さの基準はP.3を参照にしてください。

天板高さJIS2号、3号の高さで3段ワゴンを収納する場合、ワゴンの上段引出しユニット(上部引出し)を分割する必要があります。取付け方法は、P7を参照にしてください。
※3段ワゴン上部ユニットを天板下に取付けない場合は、図の位置に**オ**のナット用キャップを取付けてください。

側板に開けられている天板受けダボ穴に**工**の天受けダボ(4ヶ所)を差し込み、天板をのせ仮置きします。

※全ての天受けダボを、必ず同じ高さに取付けてください。



天板の固定、フックの取付け

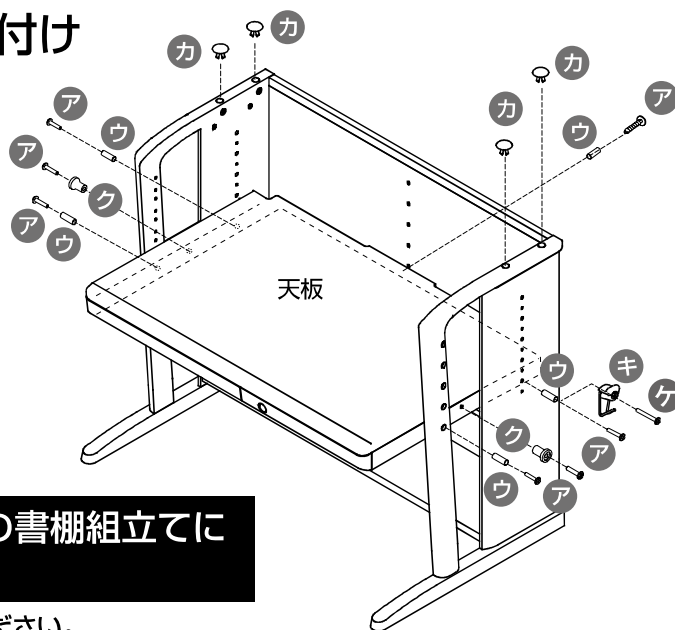
天板受けダボの上に天板を仮置きした後、側板外側の穴に **ウ** のリングを差込み **ア** のコネクットボルトで締付けます。

この時、左右の側板のどちらかに **キ** のスイングフックを **ケ** で取付けます。

ク のフックを図の位置、左右に取付けてください。

デスクを単体でご使用になる場合は、側板の上部に

カ の穴埋め用キャップを取付けて完成です。



書棚と連結でご使用の場合は、P7の書棚組立てに進んでください。

※天板を取付けた状態で、書棚の組立てに進んでください。

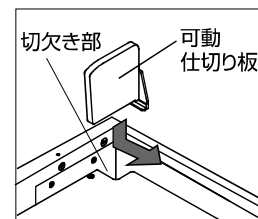
デスクと書棚を個別でご使用になる場合

可動棚板、可動仕切板の取付け (天板高さ4~6号時)

天板高さが4号~6号の時は、可動棚板を天板の下に取付けることができます。

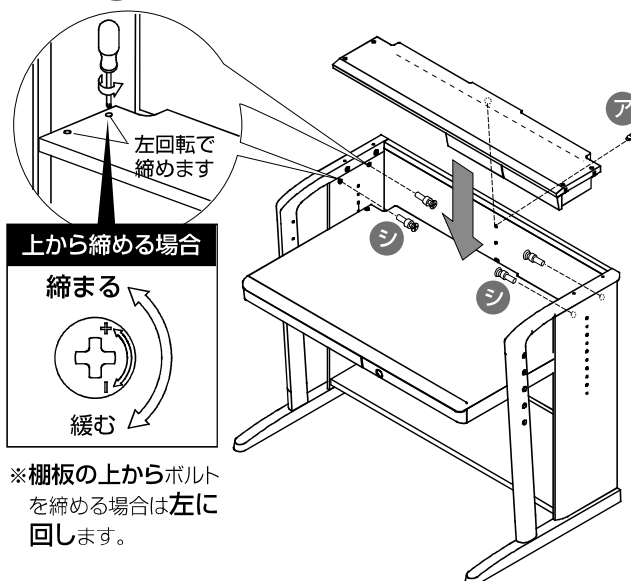
可動棚板の取付けは、側板に書棚付属の 棚受け金具ピン **シ** を取付け、后面板の後ろから **ア** のコネクットボルトで締付けます。

可動仕切板は、天板の切欠き部に差し込み横にスライドさせて取付けます。

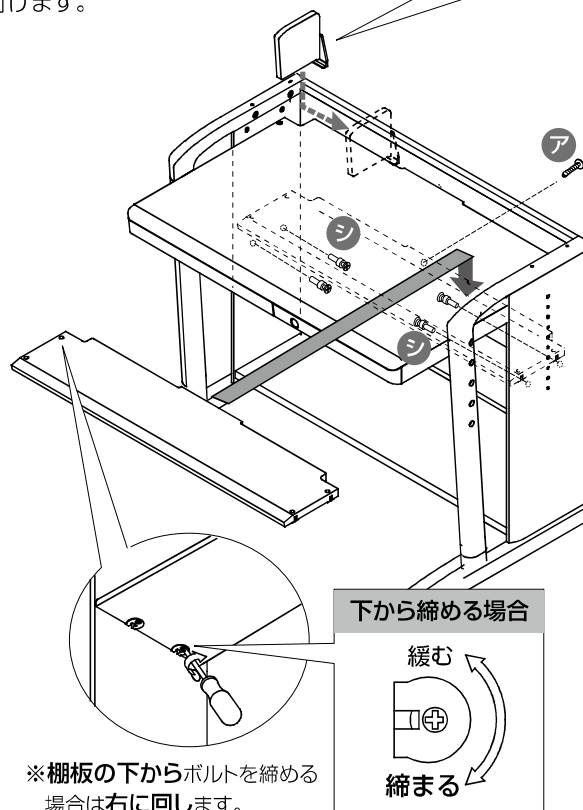


引出し付き可動棚板の取付け (天板高さ2号時)

天板高さが2号の時は、引出し付き可動棚板をデスクの上部に取付けることができます。引出し付き可動棚板の取付けは、側板に書棚付属の 棚受け金具ピン **シ** を取付け、后面板の後ろから **ア** のコネクットボルトで締付けます。



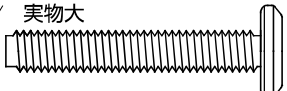
※棚板の上からボルトを締める場合は左に回します。



※棚板の下からボルトを締める場合は右に回します。

書棚

部品明細 (組立て前に必ずご確認ください。)

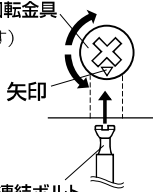
ア ×3	コネクトボルト (M6×35mm)	実物大 	イ ×16	片側連結ボルト (24mm)
サ ×4	両側連結ボルト (24mm×40mm)	シ ×8	棚受け金具ピン	

Point (回転金具について)

回転金具
(部材に埋め込まれています)

右に回すと締まります。
左に回すと緩みます。

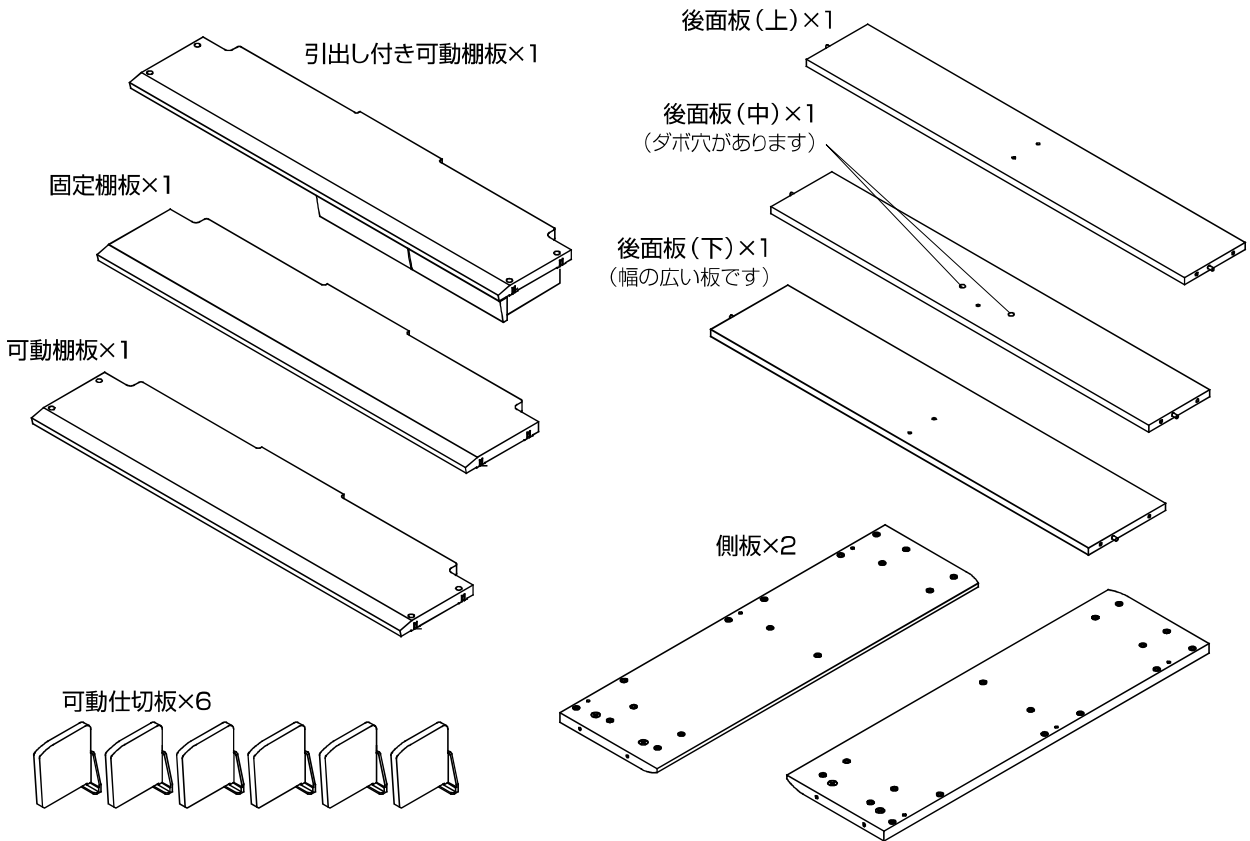
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。



片側連結ボルト

組立てには**+**のドライバーをご使用ください。

* 電動ドライバー、電動工具は製品を傷つけたり破損する恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。



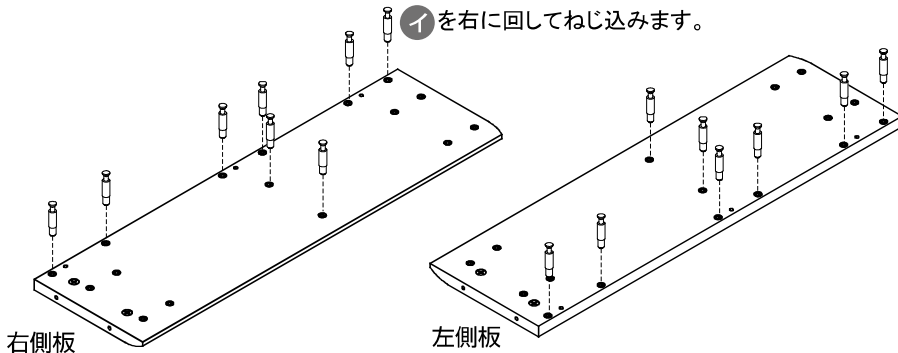
書棚

1

側板へ連結ボルトの取付け

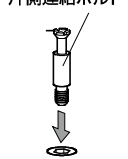
左右の側板に各8本づつ**イ**の片側連結ボルトを取付けます。

イを右に回してねじ込みます。



Point (連結ボルトについて)

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないように注意してください。
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。

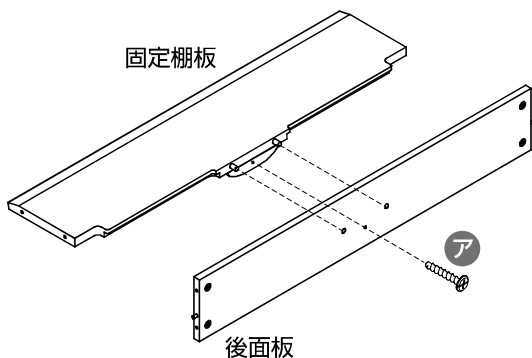


片側連結ボルト

書棚 2

後面板(中)と固定棚板の取付け

固定棚板に **ア** のコネクトボルトで後面板(中)を取付け、しっかり締付けます。



書棚 3

側板と後面板の取付け

左側板に **2** の部品と後面板(上下)を取付け、次に右側板を取付け、回転金具をしっかり締付けます。

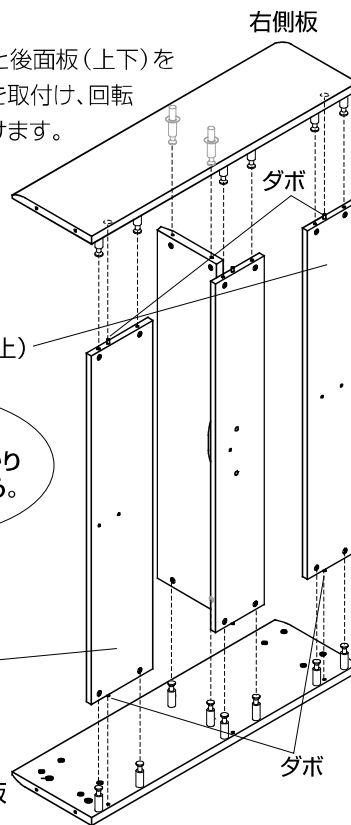
※後面板(上)と後面板(下)にはダボが付いています。位置を確認し取付けてください。



各回転金具

後面板(下)

左側板



A. 書棚単独で使用する場合は A-4 へ

B. デスクと連結して使用する場合は B-4 へ

書棚

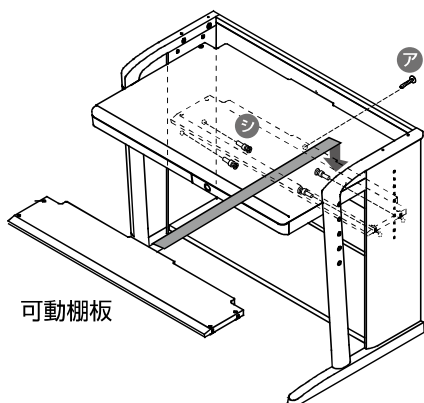
A-4

引出し付き可動棚板、可動棚板の取付け

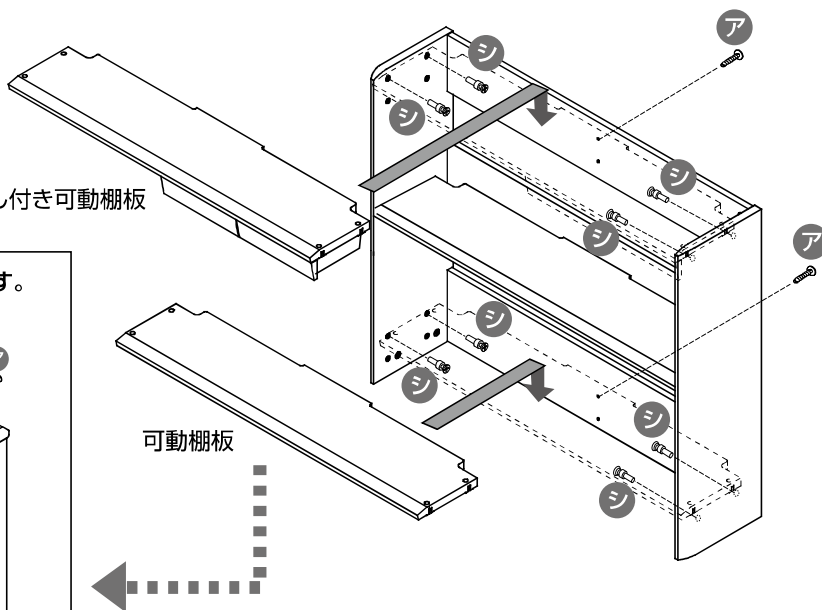
引出し付き可動棚板、可動棚板の取付けは側板に **シ** の棚受け金具ピンを取付け、後面板の後ろから **ア** のコネクトボルトで締付けます。

引出し付き可動棚板

■デスクの棚板としてもご使用になれます。



可動棚板



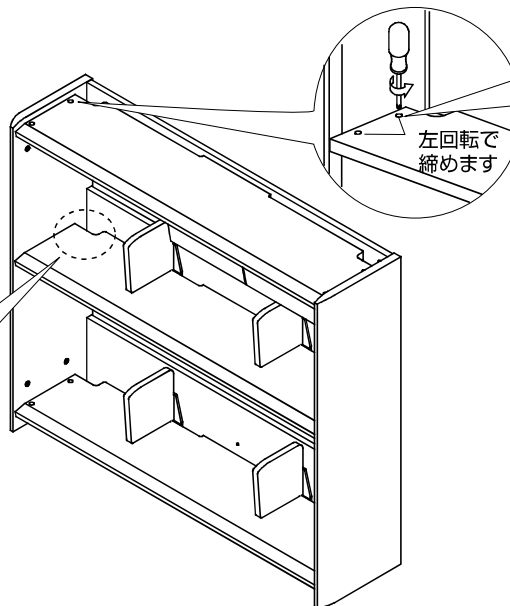
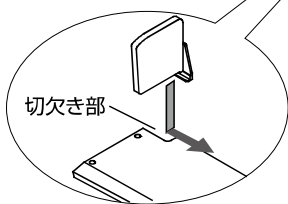
A-5

金具の締付け、可動仕切板の取付け

引出し付き可動棚板、可動棚板の金具を上側からドライバーでしっかり締付けます。

■可動仕切板の取付け・取外し方

デスクの切欠き部に可動仕切板を差し込みスライドさせて取付けます。取外す場合は、可動仕切板を切欠き部までスライドさせて取外します。



上から締める場合

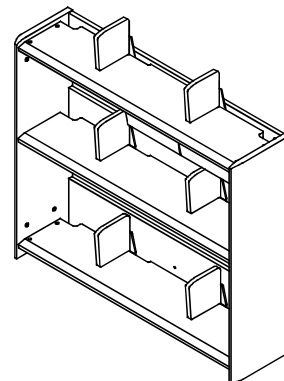
締まる



緩む

※棚板の上からボルトを締める場合は左に回します。

完成



➡ P.11 「3段ワゴンの引出しユニットと照明について」へ

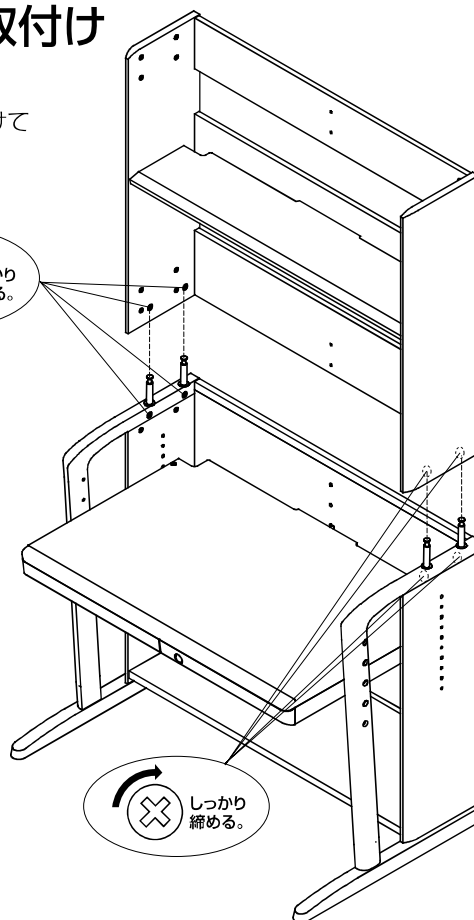
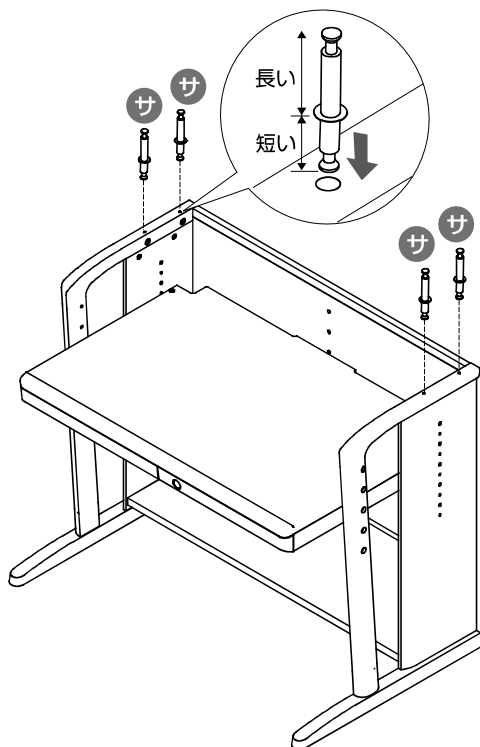
P6で完成したデスクと書棚の連結

デスク+書棚

B-4

デスクへ両側連結ボルトの取付け

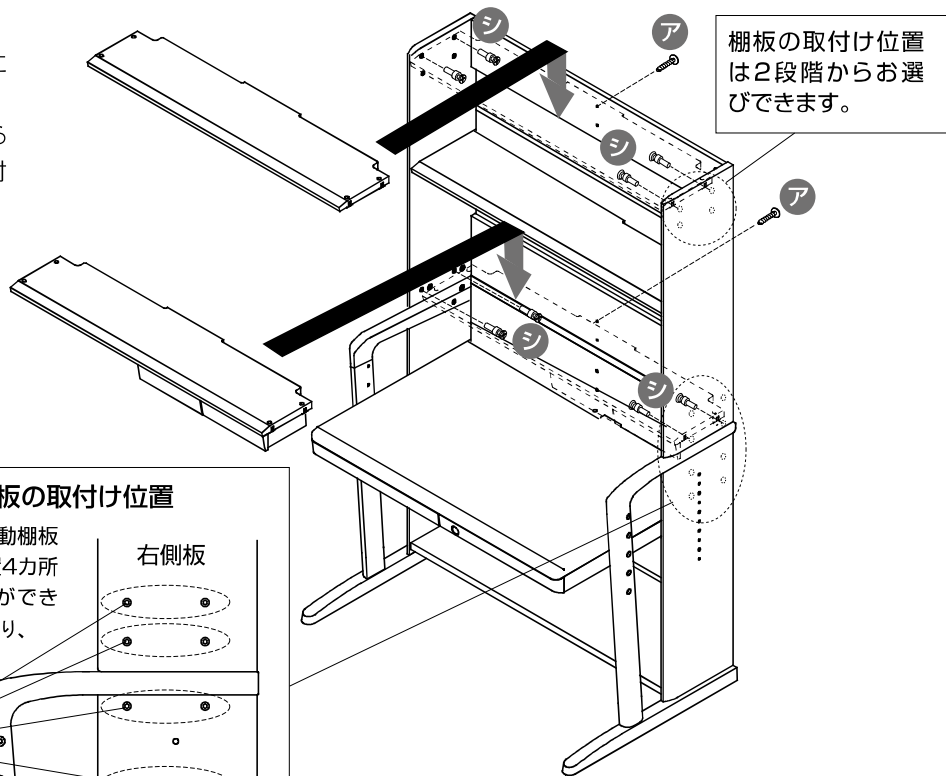
デスク側板上部の穴に「サ」の両側連結ボルトを差し込み、書棚を取付けて回転金具をしっかり締付けます。



B-5

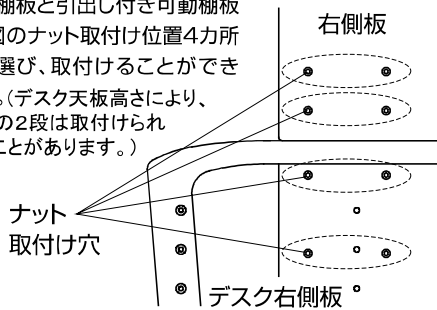
引出し付き可動棚板、可動棚板の取付け

可動棚板の取付けは側板に
 シの棚受け金具ピンを
 取付け、后面板の後ろから
 アのconnectボルトで締付け
 ます。



引出し付き可動棚板の取付け位置

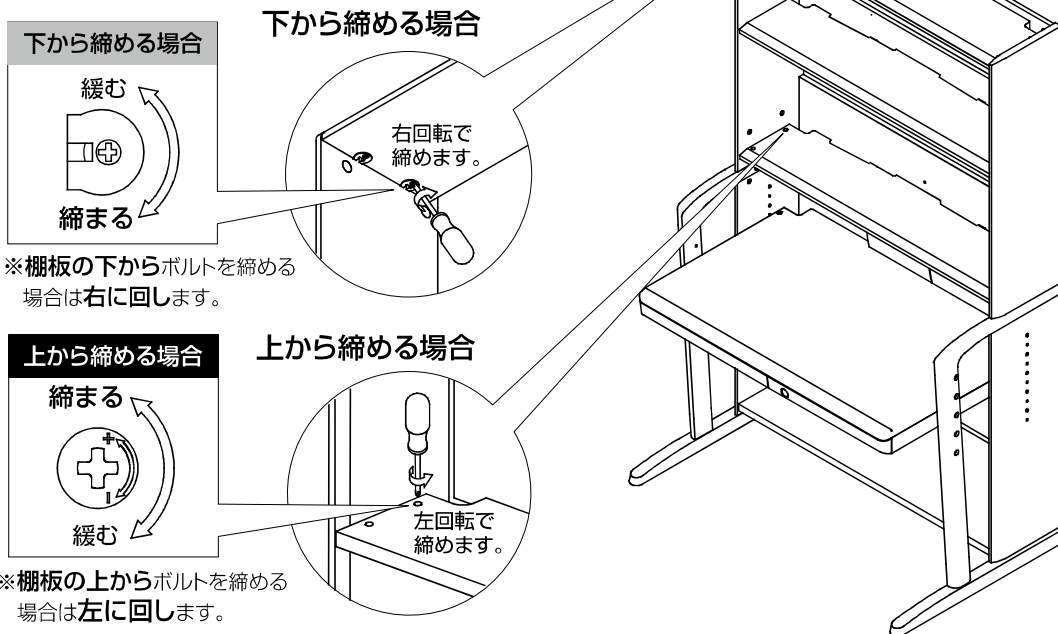
可動棚板と引出し付き可動棚板
 は、図のナット取付け位置4カ所
 から選び、取付けることができ
 ます。(デスク天板高さにより、
 下段の2段は取付けられ
 ないことがあります。)



B-6

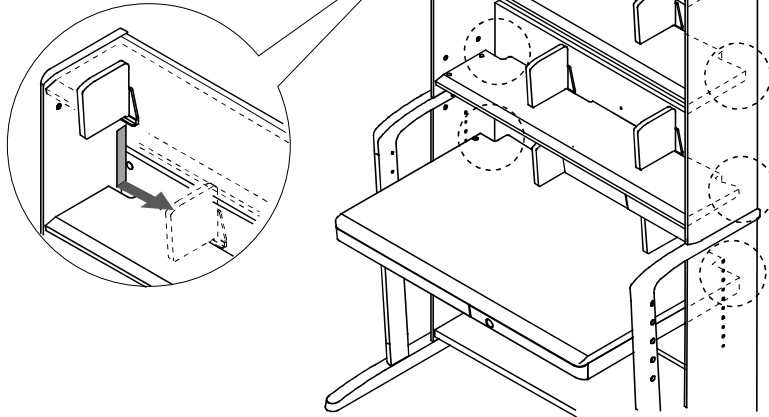
ボルトの締め付け

引出し付き可動棚板、可動棚板のボルトは上下どちらからでも締め付けができますが、
 下からの場合は右回転、上からの場合は左回転の締め付けになります。

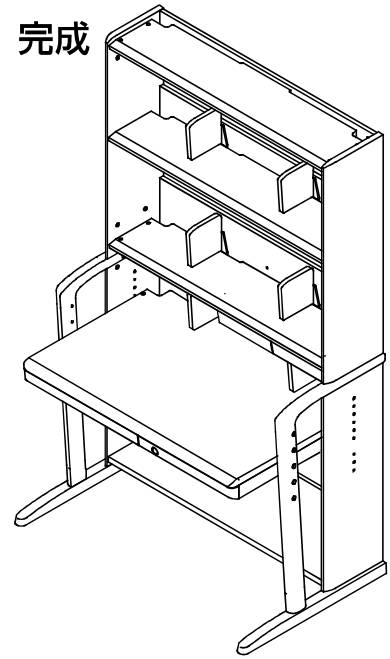


可動仕切板の取付け

可動仕切板はお好みの場所6カ所に取付けることができます。
書棚、デスクの左右にある切欠き部から差し込み、横にスライドさせて取付けます。



完成



3段ワゴンの引出しユニットと照明について

3段ワゴン引出しユニットの収め方

専用の3段ワゴンをご購入の方は、天板高さJIS2号、3号の場合は引出しユニット（上部引出し）を分割する必要があります。

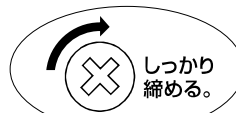
分割したユニットは図のように固定下棚板に収納することができます。

①ワゴンを分割し、引出しユニットとイの片側連結ボルトをワゴン本体より外します。

②取外した連結ボルトを図の場所にねじ込んでください。

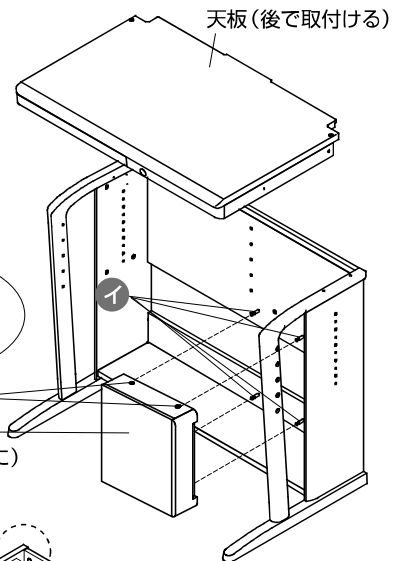
※取付け場所は本体に向かって右側のみとなります。

③引出し前板がデスク側板の方を向くように、引出しユニットを取付け上部回転金具2ヶ所のみ右に回し、締付けてください。



回転金具

引出しユニット
(前板が側板の方を向くように)



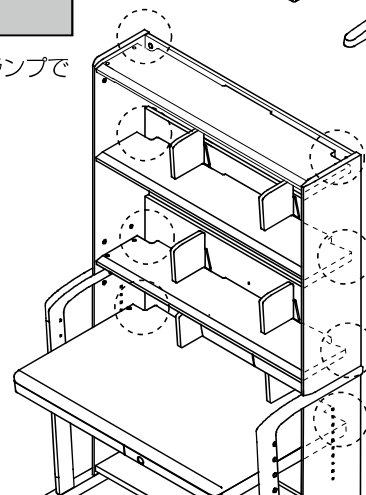
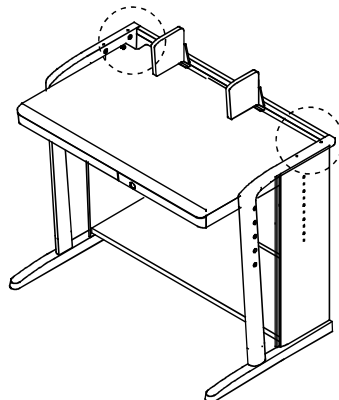
照明の取付け位置

照明は、書棚棚板の左右切欠き部のすべてと、デスク左右の切欠き部にクランプで取付けることができます。

※取付け方の詳細は、照明器具付属の「取扱説明書」を参照してください。

△ 注意

デスクの高さ、可動棚板の取付け位置によって、取付けができない場所があります。狭いスペースに、無理に照明を取付けしないでください。



■おかしいかな?と思ったら

Q 組立てがうまくいかない。
部品が取付かない。

A 説明書の手順で組立てていますか?
取付け部品の種類や向きが間違っていないですか?

Q 木目や色が想像と違う。
展示品や写真と違う。

A 木目や色がカタログ及び見本製品と
違いが出る場合があります。

Q 部品が余ってしまった。

A 組立パターンにより、使用しない
部品や部材が生じる場合があります。
組替え時には必要になります
ので大切に保管してください。

■製品廃棄について

不要になった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。
廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。 ご不明な点をご相談ください。

修理と製品保証について

この度はオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしております。

万一保証期間内(一般社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく)に故障した場合は無料で修理をさせていただきます。
(お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所・現象の例による。)

修理は、お買い上げの販売店に、必ず本保証書を添えて、ご依頼ください。

所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。

保証書

保証期間	不具合箇所・現象の例		期 間
	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、クロスの磨耗	
機構部・可動部	引出し、スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構の故障		2年
構造体	強度、構造体にかかわる破損		3年
品 名	デスク	品 番	865ELA
		お買上日	年 月 日
おとこ	販売店名		
お名前	(印)		

- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - 組立て・取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障。
 - お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理・改造などによる故障。
 - 本書にお買い上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 保証書の提示がない場合。
 - 消耗部品の交換。
 - 火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
- 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
 - 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
 - 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問い合せください。

株式会社 岡村製作所 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19階

組替え方法について、弊社ホームページに代表的な製品の組替え方詳細を掲載しておりますので、ご確認ください。
<http://www.pierna.jp/>

よい品は結局おトクです

オカムラ

株式会社 岡村製作所 インテリア営業部 製品開発室

ホームページアドレス <http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は
お客様サービスセンターへ
フリーダイヤル **0120-81-9060**
受付時間 9:00~17:20(土・日・祝日を除く)